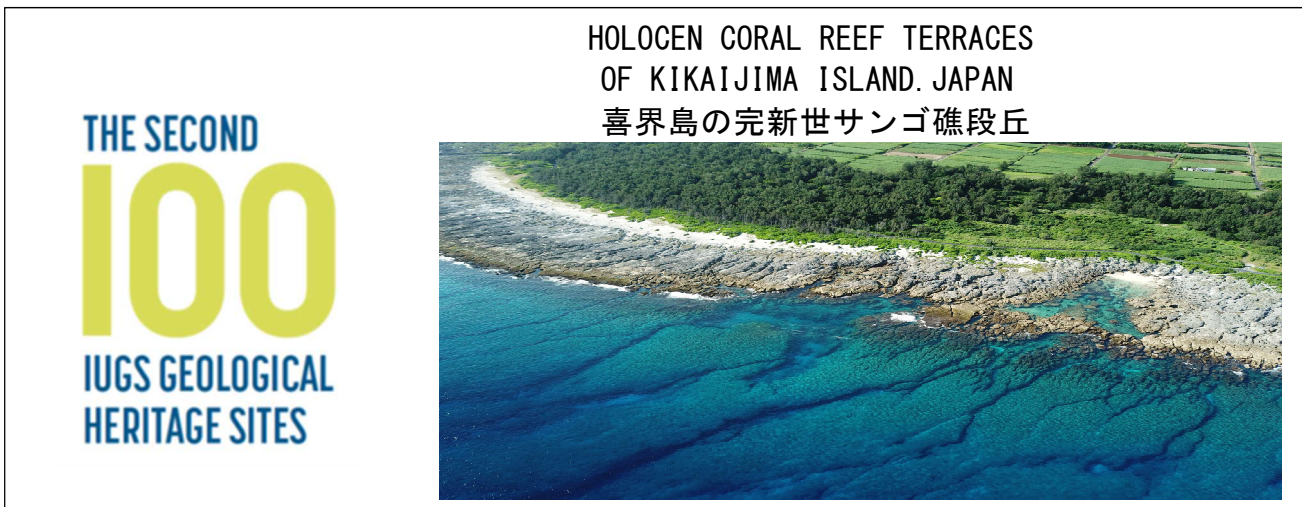
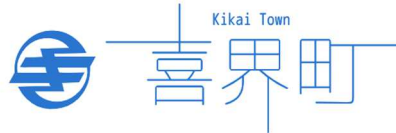


10万年かけてサンゴ礁からできた世界的にも稀な鹿児島県の喜界島
「世界地質遺産 100選」に認定されました
～今後は、日本ジオパーク認定を目指していきます～



鹿児島県喜界町（町長：隈崎悦男）の完新世のサンゴ礁段丘が、国際地質科学連合（IUGS）が主催する「セカンド 100」IUGS 地質遺産サイト（The Second 100 IUGS Geological Heritage Sites）として「世界地質遺産」に認定されました。認定されたことを受け、喜界町長 隈崎悦男及び喜界島サンゴ礁科学研究所理事長 渡邊剛が、8月25日（日）～31日に韓国釜山にて開催された、国際地質学会（IUGS2024）に出席し、認定地域および専門家等が集結する当該学会にて、喜界島認定についてのプレゼンテーションを実施いたしました。

世界中の研究者が調査に訪れる、地質学的にも稀な喜界島は、10万年前にサンゴ礁の隆起により誕生し、5つのサンゴ礁段丘などで構成されています。この地質は過去の環境や地球の歴史を知る上で貴重なものであり、鹿児島県喜界町は、2025年4月の日本ジオパーク認定申請を目指すともに、喜界島ブランドや地域食材活用推進事業等、持続可能な産業にも力を入れてまいります。

10月には、鹿児島県庁にて、塩田 康一知事への当該学会での発表内容を含む報告会を予定しています。

■第37回世界地質遺産学会での認定プレゼンテーション内容について：

認定プレゼンテーションには、16カ国21箇所の認定地域から専門家が参加し、各地域の稀有な地質についてのプレゼンテーションを行いました。

喜界町は10万年のサンゴ礁をテーマに、以下の発表を行いました。

- ・化石サンゴの詳細な放射年代測定により、喜界島は過去10万年間、連続的に隆起してきたことが明らかになっている。
- ・サンゴ礁段丘は、後期更新世の氷河サイクル中の急速な海面変動によって形成され非常に大きい速度で継続的に隆起している。
- ・隆起率は更新世後期から一貫して維持され、完新世のサンゴ礁段丘には千年規模で発生した過去の地震活動が記録されている。

- ・驚異的な隆起速度により、喜界島では海岸に保存状態の良いサンゴの骨格が露出し、完新世（過去1万年間）の詳細な気候変動やサンゴ群集の変遷を調べる事が可能である。



■ 第2回「地質遺産100選」認定プレゼンテーションに至るまでの経緯：

2022年：第1回「世界地質遺産100」にて、世界中の高い国際的価値を持つ地質遺産から100か所が認定、以降2年ごとに100地点を新たに選定。

2023年3月：喜界島ジオパーク準備評議会発足

2023年6月：喜界島ジオパーク推進協議会発足

2023年10月：第13回日本ジオパーク全国大会への参加、喜界島におけるジオパーク認定に向けた取組を紹介

2024年3月：第2回「世界地質遺産100」にて64カ国174候補地の1つとして喜界島が1候補に。

2024年8月：第2回「世界地質遺産100」に「喜界島の完新世サンゴ礁段丘」の名称で認定。

2024年8月：国際地質学会（IUGS2024）にて、認定プレゼンテーションを実施。

■ 喜界島の世界的にも稀有な特徴について：

- ・喜界島はサンゴ礁が隆起してできた島で、奄美大島の東方約25kmに位置。
- ・島は年間平均約2mm隆起しており、その隆起速度は世界でも有数の速さを誇る。
- ・5段のサンゴ礁段丘などから大地が形成され、その表面のほとんどはサンゴ礁性石灰岩で構成されている。この特異的な地質はコカのサンゴ礁の環境や地球の成り立ちが分かる貴重なもので、世界中の研究者からの注目も高い。
- ・喜界島にはハブがいないため、サンゴの石垣が今も多く残っており、東側の阿伝集落では、家々の石垣がすべてサンゴでできている。
- ・島の周囲は約50kmで、サンゴ礁でできた平坦な面（段丘面：過去の海水面を表す）と崖（段丘崖）が交互に繰り返された階段状の地形で構成されている。



■ 喜界島ジオパーク推進協議会の活動について：

- ・喜界島ジオパーク（構想）テーマである「輝く海で生まれるサンゴ礁 上昇する大地 人はその恩恵を育む 『10万年の奇跡』 喜界島ジオパーク（構想）」に基づいて活動。

地元住民や外部の人々に喜界島の地形・地質の特長を広く知ってもらい、自然資源の保護やジオパークの取組活動を通じて町の課題解決と目標達成を目指す。

- ・日本ジオパーク認定を目指し、プロジェクトチームを立ち上げて活動を推進。
- ・ロゴマークの公募を行い、87作品から選ばれたデザインを2023年10月にお披露目。鹿児島市在住の平山陽一さんのデザインが採用され、喜界島の魅力を広めるシンボルとして活用予定。

<活動内容>:

- ・ジオパーク独自の活動として、島の食材を活かしたジオパーク給食を実施。



・今後もネットワークを強化し、対話を通じて日本ジオパーク認定を目指していく。

■今後の予定：

2024年10月：鹿児島県 塩田知事へ地質遺産100選認定報告会実施予定。

2025年：日本ジオパーク認定申請を目指していく。

■国際地質科学連合（IUGS）について：

1961年に設立され、国際地質会議の間で地質科学の国際研究プログラムを調整するために設立され、世界115の国と地域、8つの委員会、4つのワーキンググループ、38の関連組織を代表し、世界で最大かつ最も活発な科学団体の一つ。

<https://ja.council.science/member/iugs-international-union-of-geological-sciences/>

【本件に関するお問い合わせ】

喜界町役場 企画観光課 中村幸雄

TEL: 0997-65-3683(企画観光課直通)